

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課		■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	花卉・果樹の農業振興に関する事務			
■事業開始年度				
■評価事業コード	050200 - 049	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	01 農業の生産性向上		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	花卉、果樹の生産振興。小ぎくの展示園巡回・共進会開催、果樹の産地拡大支援、PR等の販売促進の支援			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 28 年度事業計画	平成 28 年度事業量実績
01	花卉・果樹の農業振興に関する事務	農協、農家	・小ぎく試作園地巡視会・検討会 ・小ぎく新規栽培者説明会 ・花卉産地拡大研修会 ・諸組織の総会・実績検討会 ・果樹関係現地検討会 ・果樹の産地拡大事業にかかる研修会 ・諸組織の総会	・紅いわてトップセールスへの参加 ・果樹産地改革計画の作成会議への参加 ・市内小学校へりんごの無償提供へ立会 ・江釣子わい化りんご生産組合総会への参加 ・北上地域ブルーベリーの会剪定講習会への参加

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費		15	8	6	
人件費	76	2,170	1,117	976	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	76	2,185	1,125	982	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	展示園巡回指導会等開催回数	9	9	9	9	展示園巡回指導会等開催回数
02	共進会開催回数	1	1	1	1	共進会開催回数

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

03	小菊の販売額	78,511千円	78,614千円	73,878千円	69,857千円	農協出荷の実績
----	--------	----------	----------	----------	----------	---------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☐ A. 順調 ☒ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 農家支援や特産品PRをするうえで、農業者との連携を取る必要がある。	問題点・課題等 農協や県による取組が主となっているため、市が介入する必要性が薄い。
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☐ 類似の事業はない ☒ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☐ 民間委託等の拡充は難しい ☒ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☐ 今以上の効率化や改善は難しい ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小